

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】令和1年5月30日(2019.5.30)

【公開番号】特開2018-159352(P2018-159352A)

【公開日】平成30年10月11日(2018.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-039

【出願番号】特願2017-57944(P2017-57944)

【国際特許分類】

F 03 G 7/06 (2006.01)

【F I】

F 03 G	7/06	G
F 03 G	7/06	E

【手続補正書】

【提出日】平成31年4月16日(2019.4.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

エネルギーの増減によって変形を生じるアクチュエータ素子(41、42)と、

前記アクチュエータ素子と連結された被駆動体(31)とを備え、

前記アクチュエータ素子は、

前記変形を生じる素材線(41a)と、

前記素材線のエネルギーを増減させるエネルギー伝達部品であって、前記アクチュエータ素子のアクチュエータ軸に沿って往復状に配置されたエネルギー伝達部品(41d、341d、441d、541d、741d、841d)とを備え、

前記アクチュエータ素子は、前記被駆動体に対して対称的に配置され、逆方向に変形する2つの前記アクチュエータ素子を備える可動装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

ここに開示された可動装置は、エネルギーの増減によって変形を生じるアクチュエータ素子(41、42)と、アクチュエータ素子と連結された被駆動体(31)とを備え、アクチュエータ素子は、変形を生じる素材線(41a)と、素材線のエネルギーを増減させるエネルギー伝達部品であって、アクチュエータ素子のアクチュエータ軸に沿って往復状に配置されたエネルギー伝達部品(41d、341d、441d、541d、741d、841d)とを備え、アクチュエータ素子は、被駆動体に対して対称的に配置され、逆方向に変形する2つのアクチュエータ素子を備える。